

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2021年5月1日～2022年4月30日



第2版
発行 2022年7月10日



造園・外構・エクステリア
株式会社 熊宮庭苑



®
エコアクション21
認証番号0013381

目次

1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要	3
3. 環境経営体制図及び役割・責任・権限表	4
4. 中長期環境経営目標	5
5. 環境経営計画の実施状況・評価（2021年5月～2022年4月）	6
6. 短期の環境経営目標及びその実績・評価（2021年5月～2022年4月）	7
7. 環境経営目標の達成状況・評価（2021年5月～2022年4月）	8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価 並びに違反・訴訟の有無	9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
10. 環境活動等の紹介	10
11. 次年度からの環境経営計画	12

【表紙の写真】

店舗『オレンジガーデン』のモデルガーデン。草花や樹木を植栽し、プランターでは野菜を育てている。



1. 環境経営方針

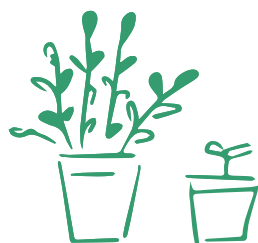
[経営理念]

1. 私たちはお庭で困っている事やお庭の悩みを最善の方法で解決します
2. 私たちはお庭の持っている価値を社会に広めて、住みよい住環境づくりに貢献します
3. 私たちはスタッフ全員で共に成長し、全従業員の物心両面の幸せを追求します

[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 次の課題について環境経営目標・環境経営計画を策定し、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努めます。
 - ① 電気使用量、及び自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減
 - ② 一般廃棄物（燃えるごみ）排出量 及び 産業廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 化学物質使用量の削減・適正管理
 - ⑤ 排ガスゼロ・燃料ゼロ・低騒音のため、工具をエンジン式から充電式へ
 - ⑥ 紙使用量の削減
 - ⑦ 「お庭の緑化」普及推進
 - ⑧ 地域社会貢献活動の推進
 - ⑨ 教育・訓練の実施、社員の技術力向上への取り組み
2. 環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
3. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識向上を図ります。



改訂日：2021年 7月 1日

制定日：2020年 11月 1日

株式会社熊宮庭苑
代表取締役 熊宮照男

2. 組織の概要



1. 名称及び代表者名

事業所名 株式会社 熊宮庭苑
代表者名 代表取締役 熊宮照男

2. 所在地

本社（登記上） 熊本県熊本市東区東町3-2-18
本店 熊本県熊本市東区東町3-2-3
オレンジガーデン 熊本県熊本市東区東町3-3-3
益城事務所 熊本県上益城郡益城町安永738-21
資材置場 熊本県上益城郡益城町馬水206

※本社(登記上)は認証・登録の対象に含まない

3. 環境管理責任者、連絡担当者及び連絡先

環境管理責任者 代表取締役 熊宮照男
連絡担当者 代表取締役 熊宮照男
連絡先 TEL：096-331-3276 FAX：096-331-3277
E-mail：info@kumamiya.com

4. 建設業許可内容

許可番号 熊本県知事許可（般－30）第15509号
許可の有効期限 平成31年2月28日から平成36（令和6年）年2月27日まで
許可内容の種類 土木工事業、大工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、
タイル・れんが・ブロック工事業、内装仕上工事業、
舗装工事業、とび・土工工事業、建築工事業、屋根工事業、
しゅんせつ工事業、造園工事業
造園工事業は平成15年4月21日から

5. 事業年度 5月～翌年4月末

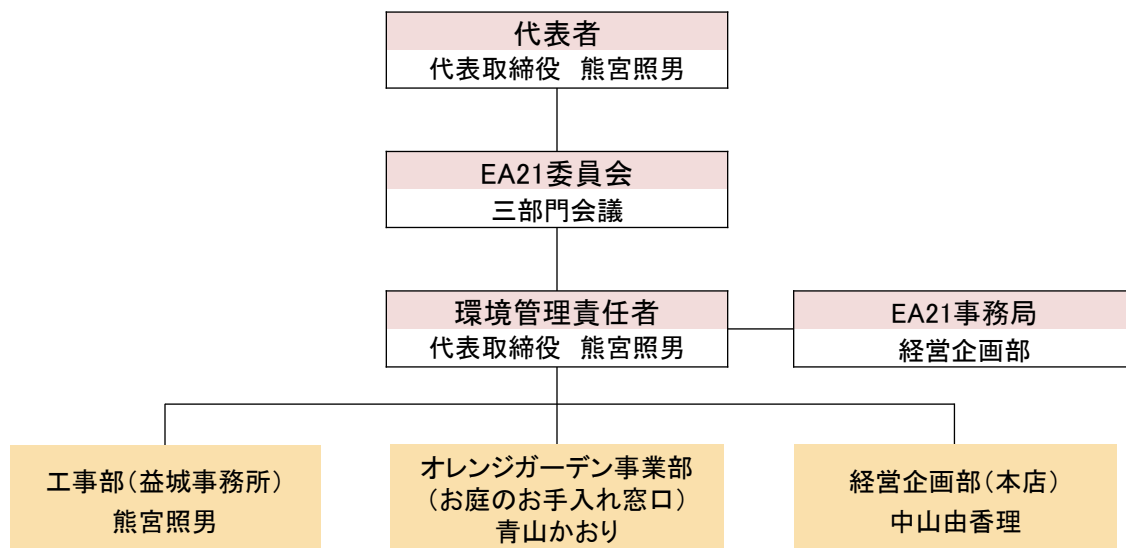
6. 事業の規模 年間総売上高 195.754千円

	本店	オレンジガーデン	益城事務所	資材置場	合計
従業員	3名	4名	5名	無人	12名
延べ床面積	142㎡	41㎡	49㎡	2,419㎡	2651㎡

7. 認証・登録の対象範囲

1. 事業活動 建設業：土木工事業、造園工事業、建築工事業、とび・土工工事業
2. 対象事業所 本店、オレンジガーデン、益城事務所、資材置場

3. 環境経営体制図 及び 役割・責任・権限表



職名	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間等、経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・緊急事態への準備及び訓練を実施 ・環境経営レポートの確認
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回開催。環境経営目標・環境経営計画の進捗確認及び問題点の対策
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、EA21委員会(三部門会議)への参加 ・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を自部門全員に周知 ・環境経営目標達成のため、責任をもって自部門の環境活動を推進 ・自部門で発生した問題点の是正処置・予防処置の実施 ・自部門に関連する法規制等の遵守 ・自部門の活動推進・管理
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付、事務局への送付)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 中長期環境経営目標

2020年度 = 2020年5月～2021年4月

項目	年度	2020年度		単位	2021年度	2022年度	2023年度
		基準(※1,2)			目標(※3)		
		全体 (絶対値)	売上 百万円当り		-0.5%	-1.0%	-1.5%
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/kwh	30,327	187.8	Kg-CO2/百万円 kg-CO2/kwh	186.9	186.0	185.0
					30,175	30,024	29,872
1.電気使用量の削減	kg-CO2/kwh	7,809	48.4	Kg-CO2/百万円 kWh	48.1	47.9	47.6
	kWh	21,048	130.4		20,943	20,838	20,732
2.ガソリン使用量の削減	kg-CO2/kwh	8,897	55.1	kg-CO2/百万円 L	54.8	54.6	54.3
	L	3,835	23.8		3,816	3,796	3,777
オレンジガーデン(店舗)	kg-CO2/kwh	2,161	13.4	kg-CO2/百万円 L	13.3	13.3	13.2
	L	932	5.8		927	922	918
益城事務所(現場)	kg-CO2/kwh	6,735	41.7	kg-CO2/百万円 L	41.5	41.3	41.1
	L	2,903	18.0		2,888	2,874	2,859
3.軽油使用量の削減	kg-CO2/kwh	13,621	84.4	kg-CO2/百万円 L	83.9	83.5	83.1
	L	5,280	32.7		5,253	5,227	5,200
②.1.一般廃棄物排出量の削減	kg	62,785	388.9	Kg/百万円 kg	386.9	385.0	383.0
					62,471	62,157	61,843
②.2.産業廃棄物排出量の削減	kg	265,960	1,647.3	Kg/百万円 kg	1,639	1,631	1,623
					264,630	263,300	261,971
③水使用量の削減	m3	184	1.140	m3/百万円 m3	1.134	1.128	1.123
					183	182	181
④化学物質使用量の削減 適正管理	-	適正管理			適正管理	適正管理	適正管理
⑤工具をエンジン式から充電式へ	-	導入			導入推進	導入推進	導入推進
⑥紙使用量の削減	-	紙使用量削減推進			削減推進	削減推進	削減推進
⑦緑化の普及推進	-	普及推進			普及推進	普及推進	普及推進
⑧地域社会貢献活動の推進 (年1回以上)	回	1		回	1	1	1
⑨教育・訓練の実施(年1回以上)	回	1		回	1	1	1
社員の技術力向上への取り組み	-	技術力向上推進			向上推進	向上推進	向上推進

※1.第一版では2019年度を基準年としていたが、本店の数値が推定値だったため、今回より基準年を2020年度に変更。

※2.二酸化炭素排出量の各削減項目 目標値は原単位(百万円当り)。

5. 環境経営計画の実施状況・評価 (2021年5月～2022年4月)

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全く出来なかった

環境活動計画	責任者	評価	本年度の反省と内容	次年度の取組
①.1. 電気使用量の削減				
不要な照明の消灯	熊宮 青山 中山	○	見積有料化を導入したことで業務量が軽減された。この点で残業時間削減につながった	継続
待機電力の消灯				継続
空調温度の適正化(室内温度夏25度、冬27度)				継続
①.2. 自動車燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減				
アイドリングストップ	熊宮 青山	○	常に整理整頓を心掛け、不要な積荷のチェックを行った。安全運転を行い、急加速・急発進を心掛けた	継続
急加速・急発進の防止		○		継続
不要な積荷のチェック		◎		継続
タイヤ空気圧のこまめなチェック		○		継続
①.1.2. による二酸化炭素排出量削減				
上記1.2.の取組による	熊宮	○	無駄なく行えた	継続
②.1. 一般廃棄物 排出量の削減				
分別の徹底	青山 中山	○	取り組んでいる	継続
事務用品は詰替、補充できるものを優先		◎	品目リストを作成・共有した	継続
②.2. 産業廃棄物 排出量の削減				
分別に努める	熊宮	◎	資源置場の移設により分別しやすくなった	継続
マニフェストを基に適正な処理を行う		◎		できた
③. 水使用量の削減				
手洗い、洗い物等での流しっぱなしをしない	熊宮 青山 中山	◎	徹底して行った	継続
節水の工夫		◎	節水を呼びかける掲示(節水シールの貼付)を行った	継続
④. 化学物質使用量の削減・適正管理				
使用量の把握	熊宮	○	購入量で使用量を把握した。希釈倍数を守った。	継続
希釈倍数を必ず守る		◎		継続
⑤. 工具をエンジン式から充電式へ				
充電式工具の導入	熊宮	◎	発電機を低騒音・低燃費の機種に変更した。	継続
⑥. 紙使用量の削減				
ペーパーレス化の推進	青山 中山	◎	Share(社内共有フォルダー)を活用し、データを共有している	継続
裏紙の使用		○		できている
⑦. 「お庭の緑化」普及推進				
新築外構工事の際は植栽の提案を100%行う	青山	◎	ご提案の一つとして心掛けている	継続
オレンジガーデン(店舗)を窓口とした緑化推進	熊宮	◎	継続している	継続
⑧. 地域社会貢献活動の推進				
事務所周辺の清掃活動	熊宮	◎	2月に東町にて道路清掃を実施	継続
⑨. 教育・訓練の実施、社員の技術力向上への取り組み				
教育・訓練の実施	熊宮	◎	全体、工事部で各1回実施	継続
社員の技術力向上への取り組み		◎	資格支援や研修参加を積極的に行った	継続

6. 短期の環境経営目標 及び その実績・評価 (2021年5月～2022年4月)

年度 項目		2020年度		2021年度		2021年度		達成率		
		基準		目標(-0.5%)		実績				
		全体 (絶対値)	売上 百万円当り	全体 (絶対値)	売上 百万円当り	全体 (絶対値)	売上 百万円当り	全体 (絶対値)	売上 百万円当り	
①	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/kWh	30,326	187.8	30,174	186.9	34,172	174.6	88.3%	107.1%
1.	電気使用量の削減	kg-CO2/kWh	7,808	48.4	7,769	48.1	8,579	43.8	90.6%	109.8%
		kWh	21,048	130.4	20,943	129.7	23,123	118.1		
2.	ガソリン使用量の削減	kg-CO2/kWh	8,896	55.1	8,852	54.8	8,326	42.5	106.3%	128.9%
		L	3,834	23.7	3,815	23.6	3,589	18.3		
オレンジガーデン(店舗)		kg-CO2/kWh	2,161	13.4	2,150	13.3	2,351	12.0	91.5%	110.9%
		L	931	5.8	926	5.7	1,031	5.3		
益城事務所(現場)		kg-CO2/kWh	6,735	41.7	6,701	41.5	6,168	31.5	108.6%	131.7%
		L	2,903	18.0	2,888	17.9	2,558	13.6		
2.	軽油使用量の削減	kg-CO2/kWh	13,621	84.4	13,553	83.9	17,267	88.2	78.5%	95.2%
		L	5,279	32.7	5,253	32.5	6,693	34.2		
②_1.	一般廃棄物排出量の削減	kg	60,492	374.7	60,189.5	372.8	75,753	387.0	79.5%	96%
②_2.	産業廃棄物排出量の削減	kg	323,850	2,005.8	322,230.8	1,995.8	230,770	1,178.9	139.6%	169%
③	水使用量の削減	m3	184	1.14	183.1	1.13	179	0.9	102.3%	124%
④	化学物質使用量の削減 適正管理	-	適正管理		適正管理		○		○	
⑤	工具をエンジン式から充電式へ	-	導入推進		導入		◎		◎	
⑥	紙使用量の削減	-	紙使用量削減推進 白黒 24,497枚 カラー 15,922枚		紙使用量削減推進		白黒 21,738枚 カラー 17,484枚		○	
⑦	緑化の普及推進	-	普及推進		普及推進		◎		◎	
⑧	地域社会貢献活動の推進 (年1回以上)	回	1		1		1		◎	
⑨	教育・訓練の実施 (年1回以上)	回	1		1		1		◎	
	社員の技術力向上への取り組み	-	技術力向上推進		技術力向上推進		◎		◎	

※1. 第一版では2019年度を基準年としていたが、本店の数値が推定値だったため、今回より基準年を2020年度に変更。

※2. 電気については九州電力2019年度CO2調整後排出係数0.371を使用。

7. 環境経営目標の達成状況・評価 (2021年5月～2022年4月)

※売上が前年度比120.8%だった為、評価は売上百万円当りの達成率で行った。

①電気使用量、及び自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減する
二酸化炭素排出量の削減について、全体では達成率107.1%。電気使用量は109.8%で達成した。各拠点での絶対値の電気使用量増加理由として、店舗では照明器具の増設・コロナ感染対策による常時窓を開けたままでの空調温度管理、本店ではミーティング時間の増加や電子レンジ購入・使用が考えられる。ガソリン使用量は128.9%で大幅達成。軽油使用量における現場（益城事務所）の達成率95.2%は施工内容・場所によって増減するため。来期も今回の計画を継続する。
②一般廃棄物（燃えるごみ）及び産業廃棄物排出量の削減
一般的な燃やすゴミの量は減少。剪定枝・樹木・草類が排出される工事が多かった為、96%の未達。
③水使用量の削減
達成。節水掲示により意識が高まった。引き続き、節水に努める。
④化学物質使用量の削減・適正管理
購入量から使用量を把握した。化学物質置場に安全データシートをまとめた説明書を置くようにし、適正管理の意識を高めた。
⑤排ガスゼロ・燃料ゼロ・低騒音のため、工具をエンジン式から充電式へ
発電機を低騒音・低燃費の機種にした。
⑥紙使用量の削減
会社全体でペーパーレスへの意識が高まり、裏紙使用も増えた。カラー出力は1562枚増えたが、モノクロは2759枚削減。全体で1197枚の削減となった。継続する。
⑦「お庭の緑化」普及推進
オレンジガーデン（店舗）を窓口として、新築外構工事等のお客様へ植栽のご提案を行った。
⑧地域社会貢献活動の推進
オレンジガーデンと本店周辺の清掃活動を行った。
⑨教育・訓練の実施、社員の技術力向上への取り組み
・全従業員へSDGsについての周知と、工事部にて安全訓練を各1回ずつ行った。
・社員への資格取得支援、各種研修の受講を積極的に推進。熊本市技術専門学院に1名入校した。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価 並びに違反・訴訟の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法の改定等について EA21プラザ等で確認し、適宜更新する。

適用される法規制	該当する設備・項目	届出・報告・証拠	遵守結果	確認
・建設リサイクル法	建設資材（コンクリート・アスファルト）のリサイクル	届出書	○	1月6日 熊宮
	リサイクル資材（コンクリート・アスファルト）の活用	購入証明書提出	○	1月6日 熊宮
・廃棄物処理法	一般廃棄物（樹木・草類）	検収伝票	○	1月6日 熊宮
	産業廃棄物（コンクリート・アスファルト）	契約書、許可証 マニフェスト	○	1月6日 熊宮
	収集運搬（自社運搬）	産業廃棄物運搬表示	○	1月6日 熊宮
・農薬取締法 ・化学物質排出把握 管理促進法 ・消防法	薬品保管庫（トロン乳剤・スチオン乳剤・ ハスタ液剤etc.）	在庫管理表の常備	○	1月6日 熊宮
・フロン排出抑制法	業務用空調機	点検記録	○	1月6日 熊宮
・家電リサイクル法	家庭用エアコン・電気洗濯機 電気冷蔵庫	廃棄時	—	—
・小型家電リサイクル法	パソコン・小型カメラ・スマホ 電子レンジ・携帯電話・電源アダプタ	廃棄時	—	—

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
違反・訴訟・苦情などありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ① 二酸化炭素排出量の削減について、引き続き全社員で意識的に取り組む。
- ② 一般廃棄物（燃えるごみ）排出量及び産業廃棄物排出量の削減について、工事の内容により排出量は大きく増減するが、分別、一時保管のルール遵守は確実に実施する。
- ③ 節水は全社員できている。ひきつづき無駄がないように努力する。
- ④ 化学物質については、希釈倍数を確実に守り適正管理を行っていく。
- ⑤ 工具は発電機を低騒音・低燃費の機種にした。今後、他の機械についても導入していきたい。
- ⑥ ペーパーレス化は裏紙使用や打合せ時のプロジェクター使用により実施中。今後も継続する。
- ⑦ 前年度に新設した「お庭のお手入れ窓口」を維持し、オレンジガーデン（店舗）を窓口としたお庭の緑化推進を行っている。今後も緑に携わる事業者として推進していく。
- ⑧ 清掃活動は引き続き年1回以上実施する。店舗を構えるサンロードシティ熊本内花壇のお手入れも引き続き行う。
- ⑨ 社員の技術力向上のため、積極的に資格取得支援、研修参加を引き続き推進する。
- ⑩ 環境経営方針、環境経営目標、実施体制は変更しない。

評価見直しの実施日：2022年7月1日

代表取締役 熊宮照男

10. 環境活動等の紹介



安全会議（月1回）



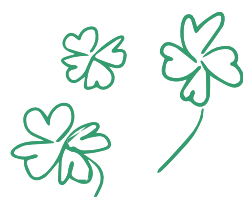
お庭の緑化勉強会（年1回）



緊急事態訓練（年1回）



環境経営システム勉強会
コロナ感染予防対策のため各部署毎に行いました。





オレンジガーデンのお庭づくり



モデルガーデン

お庭のお手入れ

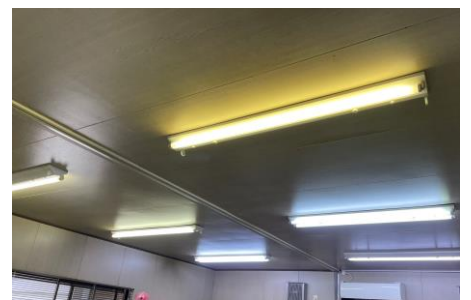


1月 清掃活動

サンロードシティ熊本内
花壇の管理・お手入れ（通年）



益城事務所 薔薇



間引き点灯

11. 次年度からの環境経営計画

方針	目 標	目標達成手段	責任者
①二酸化炭素 排出量削減	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要照明の消灯 ・ 待機電力の消灯 ・ 空調温度の適正化（室内温度夏25度、冬27度） 	全部門 熊宮 青山 中山
	自動車燃料 (ガソリン・軽油)の 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ ・ 急加速・急発進の防止 ・ 不要な積荷のチェック ・ タイヤ空気圧のこまめなチェック 	熊宮 青山
②廃棄物 排出量削減	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別の徹底 ・ 事務用品は詰替、補充できるものを優先 ・ 品目リストの活用 	青山 中山
	産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別に努める ・ マニフェストを基に適正な処理を行う 	熊宮
③水使用量 削減	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗い&洗い物での流しっぱなしをしない ・ 節水の工夫 ・ 消毒時、散布量に無駄がない様努める 	全部門 熊宮 青山 中山
④化学物質 使用量	化学物質使用量の 削減・適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用量の把握 ・ 希釈倍数を必ず守る 	熊宮
⑤工具	工具をエンジン式 から充電式へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 充電式工具の導入 	熊宮
⑥紙使用量 削減	紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス化の推進 ・ 裏紙の使用 	青山 中山
⑦緑化	緑化の普及推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新築外構工事の際は植栽の提案を100%行う ・ オレンジガーデンを窓口とした緑化普及推進 	熊宮 青山
⑧地域社会 貢献活動	地域社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所周辺の清掃活動 	熊宮
⑨教育・訓練・ 社員の技術力向上	教育・訓練の実施 若手社員の技術力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態に備えるための教育・訓練の実施 ・ 各種資格支援、研修への参加促進 	熊宮



〒862-0901熊本市東区東町3-2-18
TEL : 096-331-3276
FAX : 096-331-3277
Mail : info@kumamiya.com
URL : kumamiya.co.jp
orange-g.jp



造園・外構・エクステリア
株式会社 熊宮庭苑



ガーデン&エクステリア専門店
オレンジガーデン